

みさと

議会だより

毎日にぎやか みさとの大家族

菊地 稔さん一家 (中島)

- 2 ふるさと納税額が増加
- 4 薬用植物栽培推進基金条例を制定

定例会概要	2
議長あいさつ	3
条例・補正予算質疑	4
一般質問	6
研修報告	12
キラリ美郷	14

ふるさと納税 件数とも増加 金額



寄付金は教育支援に活用

子ども新聞を使った学習

12月定例会を12月5日から14日までの10日間の会期で開きました。審議した内容は、人事案件に対する同意、薬用植物栽培推進基金条例の制定や指定管理者の指定、平成29年度一般会計補正予算など21議案。その全てを、原案のとおり同意・可決しました。一般質問は、4議員が登壇して町政を質しました。陳情は3件を採択、意見書を関係機関に提出し、1件を不採択としました。

今定例会では、「ふるさと美郷応援寄付金」が11月末で160件、819万円寄せられており、昨年同期と比べ件数で76件、金額で382万円増えたことによる返礼品の追加100万円と「ふるさと美郷子ども育成基金」への積み立て300万円を補正しました。

町では、ふるさと納税を基金に積み立て、教育支援に役立てています。子ども達を一流の芸術に触れさせ豊かな感性や創造性を育てる「ドリム体験！ほんもの講座」や、子どもの視野を世界に広げる「新聞活用教育推進事業」などに活用しています。

一般会計補正予算での増額は、このほかに乗合タクシーの利用増により運営する協議会への負担金177万円、起業支援事業補助金1件180万円、住宅リフォーム補助金37件296

年頭のあいさつ



美郷町議会議長
澁谷 俊二

あけましておめでとうございます。昨年は夏の豪雨や11月からの大雪など、心配事の多い年でした。また、世相を表す漢字一文字に「北」が選ばれました。北海道のジャガイモ不足、九州北部の集中豪雨、そして北朝鮮問題と暗いニュースが思い出されます。一昨年の漢字は「金」でした。今年は、冬季オリンピックが韓国平昌で開催されます。メダルラッシュで日本国中に明るいニュースを届けて頂きたいと願っています。

高齢化の進行により立候補者が減少し、無投票当選が増え、一部の町議会は定数割れとなるなど、議員のなり手不足が深刻化しています。このようなことを踏まえ、「地方議会議員の位置付けの明確化」「多様な人材を確保するための環境整備」「地方議会議員選挙の活性化（公営選挙の拡大）」「地方議会議員の厚生年金制度への加入」「公務災害補償制度の充実」の実現を強く要望してまいりました。美郷町議会も新たな年に向かい、町民の声を耳をかたむけ、地域環境にも目を向けながら、町の発展、向上に努めてまいります。本年が皆様にとりまして平穏な良い年でありますよう祈念申し上げます。

万円、1月20日からリリオスを主会場として開催される魁星旗フットサル大会の補助金30万円、子ども子育て支援交付金のうち一時預かり事業の国・県への返還金1333万円など、減額は国民健康保険特別会計繰出金1468万円など。歳入・歳出にそれぞれ1億475万7千円を追加し補正後の平成29年度一般会計予算総額を111億7095万2千円としました。

また、町の施設を管理する指定管理者として下の一覧表のとおり指定することとしました。指定期間はいずれも平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間です。

指定管理者の一覧表

指定管理者に管理させる公の施設	指定管理者となる法人・団体
道の駅 雁の里 農業振興施設	株式会社 雁の里せんなん
手づくり工房湧子ちゃん	六郷まちづくり株式会社
ニテコ名水庵	六郷まちづくり株式会社
あったか山直売所	あったか山直売所運営協議会
宿泊交流館 ワクアス	美郷温泉振興株式会社

薬用植物 栽培推進基金条例を制定

早期の出荷・販売体制 の確立を期待 / 株式会社龍角散から寄付の申し出

条例・補正予算質疑

議会最終日の12月14日、初日に同意した案件以外の議案について、審議を行いました。主な内容を要約してお伝えします。

薬用植物栽培推進基金条例の制定について
内容 薬用植物にかか
る寄付金を積み立て、
使途を特定し、継続的・
長期的に甘草や桔梗な
どの薬用植物栽培を推
進するものです。

事業推進の決意は
熊谷(隆)議員 基金を
設けて今後の事業推進
の決意は。
町長 美郷町の農産物
の一品目として、定着
するように頑張りたい。

3千万円の寄付
泉議員 寄付金の額は
いくらか。また、運用
益(利息)で事業を行な
うのか、基金を取り崩
すのか。
農政課長 寄付金は3
千万円。運用益は基金
に積み立てる予定だ。
具体的な使途と額に
ついては、平成30年度
当初予算編成で検討し
ていく。

**職員の育児休業等
に関する条例の
一部改正について**
内容 育児休業に係る
子どもが申し込みはし
ているが保育園に入れ
ない場合、再度育児休
業の期間の延長ができ
るものです。

会の勧告にならない、期
末手当を平成29年12月
にさかのぼり年100
分の5ヵ月引き上げる
ものです。

**町営住宅条例の
一部改正について**
内容 町営住宅の入居
者が、認知症や知的障
がい者などで本人から
の収入申告が困難と認
められる場合、調査に
より把握した収入を基
に家賃を決定できるよ
う改正するものです。

**生涯学習課長 公募に
よらない方法だった。
接客や宿泊についての
ノウハウがあり、選定
委員会では問題なく選
ばれた。**

雇用も見込める
細井議員 起業者総合
支援事業補助金の内容
は。
商工観光交流課長 美
容院の開業に対するも
のだが、軽喫茶と幼児
コーナーを設けてくつ
ろげる空間をつくり、

**町長及び副町長の
給与及び旅費に関する
条例の一部改正について**
内容 秋田県人事委員
会の勧告にならない、職
員の勤勉手当を県内
の民間のボーナス支給
割合に合わせ年100
分の5ヵ月引き上げる
ものです。

**町営土地改良事業
の経費の賦課徴収
に関する条例の一
部改正について**
内容 土地改良法など
の一部を改正する法律
の施行にともない、所
用の規定を改正するも
のです。



株龍角散 藤井社長も参加してのホオノキの植樹

一般会計補正予算
熊谷(良)議員 広域市
町村圏組合の事業で、
障害者支援施設「かわ
舟の里角間川」改築事
業の負担金が消防庁舎
建設事業負担金に振り
向けられた経緯は。
企画財政課長 かわ舟
の里改築事業に対する
国の補助が不採択とな
り、設計見直しが生じ、

**負担金変更の経
緯は**
熊谷(良)議員 広域市
町村圏組合の事業で、
障害者支援施設「かわ
舟の里角間川」改築事
業の負担金が消防庁舎
建設事業負担金に振り
向けられた経緯は。
企画財政課長 かわ舟
の里改築事業に対する
国の補助が不採択とな
り、設計見直しが生じ、

**村田議員 図書購入費
の内容は。**
生涯学習課長 県の読
書活動推進パートナー
支援事業を利用したも
ので、県が食育活動や
地域貢献活動に貢献し
ている(株)ヤマダフーズ
と調整を行ない、食育
などに関する本を10
0冊ほど購入する。本
は町の図書館に置き、
一般の貸し出しのほか
に子どもの食育学習に
も活用される。

**一般職の給与に関する
条例の一部改正について**
内容 秋田県人事委員
会の勧告にならない、職
員の勤勉手当を県内
の民間のボーナス支給
割合に合わせ年100
分の5ヵ月引き上げる
ものです。

特殊なカット技術によ
り集客を図るとの申請
があった。商工会に
審査を依頼したところ、
経営内容について慎重
に計画しており、雇用
も見込めるので適格と
の審査意見をいただい
ている。

**指定管理者の
指定について**
熊谷(良)議員 宿泊交
流館の指定管理者の選
定は公募か、それ以外
か。また、どのように
して選ばれたのか。

選定は公募か
熊谷(良)議員 宿泊交
流館の指定管理者の選
定は公募か、それ以外
か。また、どのように
して選ばれたのか。

食育の本が置かれる図書館
食育の本が置かれる図書館



食育の本が置かれる図書館

4議員が 8項目を質す

ただ

質問者

村田 薫 議員

- ◇ 河川堆積物の除去を
- ◇ クマ被害の対策は

泉 美和子 議員

- ◇ 国保税の負担軽減を
- ◇ 子どもの医療費無料化拡大を

鈴木 正洋 議員

- ◇ 「道の駅ごさんねん」に名称変更し、後三年合戦の観光拠点となる体制づくりを
- ◇ 地域消費の拡大とキャッシュレス化のために電子地域通貨の導入を

内田 清文 議員

- ◇ 「生菓の里 美郷」構想について
- ◇ 観光行政について

一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

12月13日の本会議において一般質問が行われ、4議員が8項目について質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

河川の堆積物の除去を

町長 県に働きかけを続けていく



村田 薫 議員

議員 数年前から、河川の底に堆積物が増え、水の流れがかなり悪い状態が目立つ。県に対し、堆積物の除去を積極的に働きかけるべきと思うが、町長の見解をうかがう。

町長 河川の堆積物の除去については、町内の河川愛護会や地域住民からの要望、あるいは現地調査を踏まえ、年1回、県および地元選出の県議会議員に対して要望書を提出している。町としては、今後も県に対して積極的な要望を続けていく。湯田沢川の四ツ屋地区については、町管理



しゅんせつ 浚渫作業中

の河川だが砂防指定区域内のため、県と協議し対応を要望、難しい場合は町単独での対応を検討する。また、丸

管理の河川なので、県に迅速な対応を要望していく。出川の橋本地区は県管理の河川で、今年度、橋本橋付近を浚渫する予定だと聞いている。

クマ被害の対策は

町長 猟友会会員の確保が課題

議員 美郷町内でも、クマによる被害が報告されている。猟友会の人数や連絡体制、捕獲用檻の数は十分か。また、「クマ出没」について、緊急告知FMラジオを使った放送はできないか。

町長 猟友会の人数は27人、代表者とは、常時、携帯電話で連絡を取れるようにしている。また、クマの目撃情報については、役場職員全員がメールを使って情報を共有し、必要に応じて所管施設に連絡を入れている。学校や認定こども園については、安全安心メール連絡システムを活用し、保護者に注意を喚起している。

町は今年度から新たに狩猟免許新規取得支援事業を実施し、免許取得に関する経費のほぼ全額を補助しているほか、県でも猟銃の購入に対する補助制度を設け、隊員の確保を図っている。

捕獲檻は7基を所有しているが、現在的人数では、これが限度となる。

緊急告知FMラジオは、(株)FM秋田との協定内容により、野生動物に対する注意喚起などは放送できない。防災行政無線の放送が聞き取れなかった時は「防災行政無線確認ダイヤル」で確認してもらえよう、周知に努めたい。

国保新制度、賦課方式変更を

町長 激変緩和策を検討

議員 国民健康保険税の負担軽減の立場から算定方式の見直しについて質問する。

資産割は、居住用資産など収入のない資産にも賦課されているため、二重課税感がある。来年度からの国保の運営統一化の中では、資産割のない3方式を求めるが町長の考えをうかがう。

町長 国保の30年4月からの制度改革では、県から標準保険税率が示されることになっていくが、それを踏まえれば、賦課方式の決定は町に委ねられている。県の提示を受けて、町でも資産割のない3方式を検討中だが、激変緩和として、段階的に引き下げて行くことも検討している。

また、均等割は子育て世帯など、家族の多い世帯の保険税が高くなる要因となっている。子育て支援の立場からも、均等割の軽減を国に求めると共に町独自の軽減策を実施すべきだ。

があり、国保世帯の59%が対象となっている。その他ことも福祉医療制度もある。



30年度から県単位で運営

子どもの医療費無料化拡大を

町長 国・県などの取り組みを注視

議員 医療費無料化を18歳まで拡大し子育て支援策の更なる充実を求める。国に対して子どもの医療費無料化制度創設を求める考えはあるか。

町長 18歳まで、医療費助成を実施した場合、国から交付される国保の療用給付金負担金が減額されるなど、財政面でも影響が大きいので、国、



現在は、15歳まで医療費無料



泉 美和子 議員

県、他自治体の取り組みを注視していく。全国町村会などを通じて国に対して子どもの医療費無料化制度の創設を要望していく。

「道の駅ごさんねん」に名称変更を

町長 慎重に検討すべき



鈴木 正洋 議員

町長 「道の駅雁の里せんなん」は開業から

議員 近年、後三年合戦に対する関心が高まっている。しかし、後三年合戦の観光スポットは、陣館遺跡、金澤八幡宮、後三年合戦資料館など、その大半が横手市に位置している。これでは合戦の舞台が美郷町だったと説明しても、一般の人には理解しにくい。

16年経過しており、名称はかなり定着している。基本名称を変更すると、各種書籍、地図、観光パンフレット、カーナビソフトなど、かなりの混乱が予想される。また、JR後三年駅との混同や、後三年行政区の住民感情への配慮も必要と思われる。

町長 消費流出を防ぎ、地産地消を推進するため、かつての「地域通貨」が進化した「電子地域通貨」を導入してはどうか。

議員 消費流出を防ぎ、地産地消を推進するため、かつての「地域通貨」が進化した「電子地域通貨」を導入してはどうか。

町長 消費流出を防ぎ、地産地消を推進するため、かつての「地域通貨」が進化した「電子地域通貨」を導入してはどうか。



スマートフォンで決済

「生薬の里」20年後の姿は

町長 農家所得は向上、産業振興にも寄与

議員 「生薬の里 美郷」の20年後の姿はどうあるべきか、町長の見解をうかがう。

また、美郷町が「生薬の里」として認知されるためには、特産品の開発こそがカギになると思うが、健康膳のほかにも、生薬に特化した商品、入浴剤、化粧品等の開発を支援する予定はあるか。

が利用可能となる。龍角散の発祥の地である美郷町の生薬原料は、商品価値を高め、農業・商工業・観光の振興にもつながっていることを期待している。

健康膳（みさとやくみぜん）以外の生薬を活用した様々な商品の

開発については、現在のところ取り組みはないが「美郷町特産品開発事業補助金」や「美郷町農産加工品販売活動支援事業補助金」などの制度を活用していただくことで支援していきたい。

町長 20年後のイメージは、栽培技術は確立され面積も拡大、農家の所得向上にもつながり、町の特色ある作物として、認知度向上にも役立っているという形を想定している。

20年後にはホオノキ



現在4年目のホオノキ

観光スポットを一連のパッケージに

町長 地域資源を連携させ、滞在・体験型観光へシフト

議員 平場の森、七滝の森、ラベンダー園などの観光スポットをつなげ、ひとつのストーリーとしてパッケージにした方がいいと考えますが、町長の見解をうかがう。

また、町の観光を総合的にデザインする場合は、役場の担当部署と各民間団体などが密接な交流を図ることが必要だと考えるが、官民の連携を強化する予定はあるか。

町長 美郷町の観光を、現在の通過型から滞在・体験型へと移行させていくため、今年度から新たなプロジェクトに取り組んでいる。七滝山や六郷湧水

観光や町づくりには、官民の連携が不可欠。「まちなかエリア活性化構想策定委員会」では、店主や町への移住者など、民間の方に委員をお願いし、検討を重ねている。



内田 清文 議員

12月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇陳情第9号 「介護保険制度の改善、介護報酬の引き上げ、介護従事者の処遇改善と確保を国に求める」意見書提出の陳情書

秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳

◇陳情第11号 米の生産費を償う価格下支え制度を求める陳情

農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木万喜夫

◇陳情第12号 種子法廃止に伴う万全の対策を求める陳情

農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木万喜夫

不採択としました

◇陳情第8号 消費税を10%に増税することを中止することを国に求める意見書採択に関する陳情

秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一
秋田県労働組合総連合 議長 三浦 宣人

〈総務常任委員会委員長報告〉

採択すべき1人、不採択とすべき4人で、委員会審査では、不採択とすべきものとしました。

採択すべきという意見

8%にあがったときも物価が高くなつたという実感があり、さらに10%になると、中小企業や小規模事業所も経営に影響があり、ますます暮らしが大変になる。

不採択すべきという意見

これまで国が決めてきた政策の継続性を考えれば、10%にするということ国で示している以上は、それに従うべきである。

税の使途も明確にされていることだから、これを中止するということ、その分の税をどこに求めるのかということになる。

〈委員長報告に対する反対討論〉

泉議員 社会保障や教育の拡充・子育て支援の財源は消費税に頼るのではなく税制度や予算の有り方全体を見直すべきだ。消費税10%の増税は中止するべきと考える。陳情を採択して意見書を国に提出すべきだ。

採 決 結 果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	深沢 義一	小原 正彦	鈴木 正洋	内田 清文	泉 美和子	森元 淑雄	高山 茂雄	細井 邦男	熊谷 良夫	伊藤 福章	鈴木 良勝	村田 薫	藤原 政春	深澤 均	熊谷 隆一	澁谷 俊二	
陳情第8号 消費税を10%に増税することを中止することを国に求める意見書採択に関する陳情	欠	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	不採択

◎平成29年第9回議会定例会（12/5～12/14）

人事

【美郷町監査委員】
（議会選出）

次の方の選任に同意
しました。



深澤 均氏(羽貫谷地)



秋田県地方自治功労者表彰

伊藤 福章議員
議員在職28年

◆主な経歴

仙南村議会議員（平成元年～平成16年）
美郷町議会議員（平成16年～現在）
美郷町議会議長（平成17年～平成21年）

【美郷町教育委員会委員】
次の方の任命に同意
しました。



枝川 慶悟氏(東高方町)

第8回臨時会(10月27日)

10月27日、第8回臨時会を開催し、承認1件、同意1件の審議を行い、全員賛成で原案を可決しました。

一般会計補正予算は、10月22日に執行された第48回衆議院議員総選挙に係る経費について専決処分した、平成29年度美郷町一般会計補正予算第5号です。

歳入歳出それぞれに1379万2千円を追加し、総額110億6619万5千円としました。

《議会広報常任委員会研修報告》

山形県川西町、大石田町(11/8～9)

優れた議会だよりを目指して

広く読まれ、理解される議会だよりを目指して、議会広報常任委員会6人で山形県川西町と大石田町の議会を訪問しました。どちらも全国町村議会広報コンクールで受賞歴があり、特に川西町議会は二年連続で最優秀賞を受賞しています。

川西町議会広報の特徴として、町民参加型の紙面づくりに取り組んでいることが挙げられます。広報モニター制度を導入して各地区の代表から議会広報に対する意見を聞いているほか、専門家は広報アドバイザーを委嘱し、退職した学校の先生からは文章の校正について助言をもらい、写真家からは作品の選定に協力してもらっています。

大石田町議会広報の特徴は、視覚に訴えかけるような紙面づくりを重視していることです。見開きを使うことで写真を大きく掲載しインパクトの



川西町での研修

ある紙面構成にしていることや、印刷の色や文字のフォント選びなどにも工夫が見られました。内容に関しては、提案予定議案や一般質問について詳細に記載した号外を発行し、議会傍聴人の増加に努めています。

これらの特徴を踏まえた上で、これまでの議会だよりの良さを活かしながら編集方針を見直し、みさと議会だよりをより広く読まれるものにする一方で、議会活動に対する町民の関心と理解を深めていきたいと思っています。

ご参加ください(1月29日～1月31日)

第15回「住民と議会との懇談会」を開催します

議会に対する意見や要望をお聴きする機会として「住民と議会との懇談会」を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時	対象行政区	会場	担当班
1月29日(月) 午後7時00分～ 午後8時30分	黒沢	黒沢会館	1班
	第一暁	一暁会館	2班
	安城寺上・安城寺下	安城寺会館	3班
1月30日(火) 午後7時00分～ 午後8時30分	宝門町	馬町児童館	1班
	小安門団地	大島会館	2班
	中村	六郷東根コミュニティセンター	3班
1月31日(水) 午後7時00分～ 午後8時30分	石柳	石町会館	1班
	御前	糠洲会館	2班
	川原保	川原保会館	3班

1班	2班	3班
小原 正彦 細井 邦男 澁谷 俊二	泉 美和子 鈴木 良勝	鈴木 正洋 森元 淑雄 熊谷 良夫 藤原 政春 熊谷 隆一
深沢 義一 高山 茂雄 村田 薫	内田 清文 伊藤 福章 深澤 均	

第8回「シリーズ みさとので大家族」

今回は菊地さん一家取材しました。仙北市角館地域で人力車を引いています。冬場は人力車の仕事を休むので、助成制度を活用して隣地の空き家に喫茶店を開きました。その隣では航希さんが接骨整骨院を経営しています。

穂さんは、「美郷町が合併したのは良いことだ、子育てしたくなる町になってほしい」と話していました。

今年の抱負を聞くと、「家族が健康で元気に仕事ができること」と話してくれました。(取材・高山茂雄)



★クイズ

【問1】美郷町議会の各委員会の任期は○年 → 【正解】 2

【問2】平成28年度におけるワクアスの宿泊数は○○%の増 → 【正解】 20

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方々が当選しました。

鈴木 みよこ 様 佐々木 ひで子 様 熊谷 順子 様

みさと
議会だより
第53号
クイズ
正解と当選者

シリーズ

キラリ美郷

vol.49

地域を守る

美郷地方猟友会



美郷地方猟友会 会長

齊藤民一さん (70歳・土崎北部)

発足のきっかけは

昨年4月に美郷地方猟友会が発足しました。それ以前は、六郷地方猟友会と仙北東部地方猟友会としてそれぞれ活動していたのですが、会員減少に加え、町村合併があったことを理由に、今回の発足に至りました。発足当時の会員は27人でしたが、新たに1人の加入があったため、現在では28人(千畑13、六郷9、仙南6)で活動しています。

現在の活動

猟友会としての活動は、主に

クイズ

問1 株龍角散から頂いた寄付の額は○千円

問2 食育などに関する本を○○○冊ほど購入

○の中だけお答えください

応募方法

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日

平成30年2月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。傍聴をお待ちしております。

これから

檻の設置や洗浄、撤去に加え、駆除したクマの運搬は重労働で

有害駆除のほか、安全講習や狩猟解禁日に力毛猟をして懇親会をするなどで、狩猟をするのは仲間同士で行くことが多いようです。
美郷町で有害駆除の対象となっているのは、クマとカラスです。有害駆除は目撃情報や被害情報をもとに町が県に有害駆除の申請を出し、許可をもらうことから始まります。許可が降り次第、檻おびを持って被害に遭った場所に向かい設置します。それ以降は檻のエサの交換をしながら毎日観察し、檻の中にクマを見つけたら、数人で猟銃を持って駆除に向かいます。

取材を終えて

私は昨年の4月頃から銃の所持に向けて動き出しており、初心者講習を終え実技講習まで修了しています。今年度中には猟友会に入る予定です。一緒に頑張りましょう。
(内田清文)

あるため、高齢化が進む猟友会では若い世代の猟師の誕生に期待しています。銃の所持に抵抗のある方でも、わな猟免許があれば猟友会に入ることができ、地域を守ることができます。
興味のある方は美郷町役場農政課までお問い合わせ下さい。
(☎0187-84-4908)

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai @ town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。